



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所
コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	41,548	7.7	2,016	38.5	2,058	38.8	1,463	35.4
2023年3月期第3四半期	38,595	5.2	1,455	14.0	1,483	15.4	1,081	20.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,460百万円(35.8%) 2023年3月期第3四半期 1,075百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 118.71	円 銭 118.08
2023年3月期第3四半期	87.42	86.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 31,385	百万円 15,163	% 48.0
2023年3月期	30,381	14,031	45.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,080百万円 2023年3月期 13,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 21.00
2024年3月期	—	10.50	—		
2024年3月期(予想)				10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.8	2,280	21.5	2,300	20.8	1,600	—	130.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	13,000,000株	2023年3月期	13,500,000株
2024年3月期3Q	689,479株	2023年3月期	1,106,589株
2024年3月期3Q	12,330,719株	2023年3月期3Q	12,371,085株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加などにより、経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向が見られたものの、緊迫した世界情勢に加え、物価の上昇や金融資本市場の変動リスク、また海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高止まりや物価上昇などの不安による消費者マインドの低迷など引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人材戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、生協様向けの夕食宅配弁当や、カフェチェーン様向け商品の取引を拡大するとともに、既存取引先様へは当社の製品ラインナップを幅広く提案し、顧客のニーズに沿った営業活動を展開することで売上高は堅調に推移いたしました。また冷凍事業においては冷凍弁当用に新しい包装機を導入し、需要に合わせた包装形態を取り揃えることで新規取引先様への拡販に繋げるとともに、2拠点目となる名古屋工場で冷凍設備を導入し、10月から冷凍おせちの製造を開始しました。今後も事業拡大のため、冷凍設備への投資は積極的に行ってまいります。

開発面では、中華料理店のシェフや食品素材メーカーを講師に招き勉強会を開催するなど人材の育成に注力し、また「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法にこだわった商品を開発しております。これにより他社との差別化を図るとともに、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しや新商品の提案を積極的に行いました。

コスト面では、人員不足による労働コストの増加や、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組みました。

人材面では、WEBを活用した職種別の会議体や勉強会を継続し、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組み、また女性活躍推進プロジェクトチーム「WORK+」(ワークプラス)を立ち上げ、従業員の働きやすい環境を整えるとともに、女性リーダー研修、経営幹部研修などを通じた育成に加え、ライフステージに合わせた活躍の場を提供することで、より組織を活性化し「従業員」一人ひとりがいきいきと働ける職場環境の整備に努めております。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えや、広島工場に太陽光パネルを設置するなどCO₂排出量削減に取り組みました。また本社及び各工場にて、地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高415億4千8百万円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益20億1千6百万円(前年同四半期比38.5%増)、経常利益20億5千8百万円(前年同四半期比38.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14億6千3百万円(前年同四半期比35.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ10億3百万円増加し、313億8千5百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ1億2千7百万円減少し、162億2千2百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益14億6千3百万円を計上する一方で、配当金の支払2億6千5百万円等により前連結会計年度末に比べ11億3千1百万円増加し、151億6千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月17日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,633	6,934
売掛金	5,519	6,153
商品及び製品	30	30
原材料及び貯蔵品	269	362
その他	209	184
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,660	13,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,809	7,598
機械装置及び運搬具（純額）	2,776	2,969
土地	6,009	6,009
その他（純額）	391	509
有形固定資産合計	16,985	17,086
無形固定資産	131	131
投資その他の資産		
その他	607	506
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	604	502
固定資産合計	17,721	17,720
資産合計	30,381	31,385
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,955	4,334
1年内返済予定の長期借入金	1,892	1,874
未払金	2,284	2,422
未払法人税等	422	327
賞与引当金	330	166
その他	659	909
流動負債合計	9,544	10,035
固定負債		
長期借入金	6,650	6,012
退職給付に係る負債	64	75
その他	90	99
固定負債合計	6,805	6,187
負債合計	16,350	16,222

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,032	2,733
利益剰余金	6,871	8,069
自己株式	△665	△430
株主資本合計	13,931	15,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
退職給付に係る調整累計額	18	14
その他の包括利益累計額合計	18	14
新株予約権	76	77
非支配株主持分	4	5
純資産合計	14,031	15,163
負債純資産合計	30,381	31,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	38,595	41,548
売上原価	33,276	35,377
売上総利益	5,319	6,171
販売費及び一般管理費	3,863	4,155
営業利益	1,455	2,016
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	38
助成金収入	13	14
その他	17	22
営業外収益合計	63	75
営業外費用		
支払利息	32	30
その他	2	2
営業外費用合計	35	32
経常利益	1,483	2,058
特別利益		
新株予約権戻入益	9	24
特別利益合計	9	24
特別損失		
固定資産除却損	9	20
特別損失合計	9	20
税金等調整前四半期純利益	1,483	2,063
法人税、住民税及び事業税	324	507
法人税等調整額	78	90
法人税等合計	402	598
四半期純利益	1,081	1,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,081	1,463

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,081	1,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	△6	△4
その他の包括利益合計	△6	△4
四半期包括利益	1,075	1,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074	1,459
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。